



平成 26 年 1 月 20 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
代 表 取 締 役 社 長 狩 野 仁 志
(J A S D A Q ・ コード 3 8 0 7)
問 い 合 わ せ 先 :
取 締 役 管 理 部 長 松 崎 祐 之
電 話 番 号 0 3 (5 7 7 4) 2 4 4 0 (代 表)

子会社の通期連結業績予想と決算値との差異に関するお知らせ

当社子会社である株式会社ネクスは、同社の平成 25 年 1 月 21 日付で公表しました平成 25 年 11 月期通期の連結業績予想値と決算値に差異が生じた旨を公表しましたので、添付参考資料のとおりお知らせいたします。

なお、本件が当社の平成 25 年 12 月期連結業績に与える影響につきましては、現在精査中ですが、業績に重大な影響を与えることが明確になった場合、速やかにお知らせいたします。

以 上

平成 26 年 1 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ネ ク ス
代 表 者 名 代表取締役社長 秋山 司
(J A S D A Q ・ コード 6634)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長兼経営企画部部长 石原 直樹
電 話 03-5766-9870

平成 25 年 11 月期通期連結業績予想値と決算値との差異 及び営業外収益（為替差益）計上に関するお知らせ

平成 25 年 1 月 21 日に公表いたしました平成 25 年 11 月期通期連結業績予想値と本日公表いたします平成 25 年 11 月期の実績値に差異が生じ、また営業外収益(為替差益)が発生しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 11 月期通期連結累計期間業績予想数値と決算数値との差異 (平成 24 年 12 月 1 日～平成 25 年 11 月 30 日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	5,786	361	351	346	32.03
今回実績 (B)	4,948	259	487	430	36.99
増減額 (B-A)	▲838	▲102	136	84	—
増減率 (%)	▲14.5%	▲28.3%	38.7%	24.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 11 月期)	—	—	—	—	—

- (注) 1. 決算期変更により、平成 24 年 11 月期は 4 ヶ月 (平成 24 年 8 月 1 日～平成 24 年 11 月 30 日) の変則決算であるため、平成 24 年 11 月期の実績については記載しておりません。
2. 当社は、平成 24 年 9 月 21 日開催の当社取締役会決議に基づき、平成 25 年 6 月 1 日付で、普通株式を 100 株に分割するとともに、1 単元の株式の数を 100 株とする単元株制度を採用いたしました。このため、当該株式分割が、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、1 株当たり四半期純利益を算出しております。

2. 差異が生じた理由

売上高においては、当社が中核事業としているデバイス事業において、高収益、高成長製品へと集中と選択を図ったため、売上高は予想数値を 838 百万円下回る 4,948 百万円 (予想数値比 14.5%減) となりました。

営業利益においては、デバイス事業における高収益案件の絞り込みによる売上総利益率の改善、支払条件の見直しによる仕入原価の削減、社内業務管理システムの効率化による販売管理費の削減等の取り組みが寄

与しました。一方、昨今の円安基調のため一部製品の仕入原価高騰の影響を受け、営業利益は予想数値を102百万円下回る259百万円（予想数値比28.3%減）となりましたが、従前より取り組んでいた仕入原価安定策の一環であるデリバティブ取引（外国為替証拠金取引）が奏功し、営業利益減少分を上回る為替差益を営業外収益として計上しております。為替相場の変動による影響を考慮しない場合、営業利益は予想数値と同水準で推移しております。

経常利益においては、デリバティブ取引（外国為替証拠金取引）による為替差益を計上したことで、予想数値を136百万円上回る487百万円（予想数値比38.7%増）となり、四半期純利益は予想数値を84百万円上回る430百万円（予想数値比24.3%増）となりました。

3. 営業外収益（為替差益）の計上

平成25年11月期において、為替相場の変動による為替差益218百万円を計上いたしました。

以 上